



ニューヨーク補習授業校だより

絆・きずな

令和元（2019）年

11月2日発行

第25号

文責（校長）片山 隆

夢のふくらむ学校

補習校の卒業生が活躍しています。

先日、ある小学校低学年向けの書籍が発行されました。タイトルは、「Following in her Father's Footsteps vol.1」といいます。内容は、歴史に名を刻んだ父とその父親の後を継いで活躍する娘達を2ページで紹介するというものです。小学校低学年向けなので、父娘の肖像イラストをメインに、簡単な紹介文が載せてあります。

実は、この本のイラストを描いたのは、ニューヨーク補習校を卒業したゆうらさんという女性です。彼女は、幼児部から中等部3年生まで現地校と掛け持ちで補習校に通い、卒業しました。元々美術に興味関心があった彼女は、ブルックリンにある美術系の大学を卒業し、現在は大学図書館で仕事をしています。イラストは自分の時間を使って描いていましたが、それが作者の目にとまり、今回イラストを依頼されたというわけです。

この本は、本来自費出版でしたが、全米テレビネットのABCがバックアップする形で本人達が出演して全国ネットで放送されました。そして、その出版記念パーティーがWABCのスタジオで行われましたが、私は縁あってその席に参加させていただきました。ご本人と話してみると、通常的生活は全く日本語を使わない世界だそうですが、話す日本語は日本生まれ、日本育ちと遜色がないほど完璧でした。聞けば、多感な思春期時代はいろいろあってかなり不安定だったそうですが、お母様が補習校の宿題をしっかりと監督し、休まず通わせるなど徹底して厳しい指導を行ったそうです。当時はうらみもしたそうですが、今となっては母親に大変感謝していると話していました。いただいた本にサインをしてもらいましたが、「補習校」の文字もしっかりとよみなく書かれてあり、日本語と日本文化がしっかりと定着していると感心しました。

折に触れてお話しさせていただいているように、「補習校は第1の教室、家庭は第2の教室」であることを再認識した次第です。学年が上がるにつれて、現地校の宿題や課題が増えたり、アクティビティが忙しくなったりと物理的に厳しい状況になってきます。それでも、高等部卒業を目指している生徒が少なからず存在するのは、何よりも一緒に頑張っている仲間の存在が大きいのと思います。補習校では、幼児部のアシスタントにも卒業生がたくさん活躍しています。彼・彼女たちは、自分たちが育った補習校が大好きで、子どもたちのことも大好きです。このような卒業生の頼もしい姿を見ると、補習校教育の一つの理想的な結晶と思うのは私だけでしょうか。ニューヨーク日本人教育審議会の掲げる「ここで得た体験や教育をもとに、ニューヨーク補習授業校で学ぶことによって、彼らが豊かな情操と幅広い教養を養い、人間として大きく成長させる」という教育目標の成果の一つが形になってそこにあると感じたことでした。

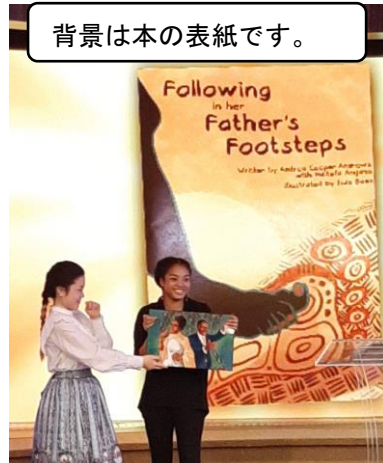
（※右側の写真は、本に記載されている一人で、故ジェシー・ジャクソン氏のお孫さんです。）

本日11月2日はW校、9日はL1校と令和2年度入園・入学説明会を行います。希望を持って入園入学してくるお子さん達のために、補習校の教職員一同は誠心誠意教育指導に当たります。保護者の皆様のご理解とご協力を、よろしくお願い申し上げます。

（※右側の写真は、本に記載されている一人で、故ジェシー・ジャクソン氏のお孫さんです。）



スタジオでの本人のスピーチ



背景は本の表紙です。

令和2（2020）年度入園入学説明会のお知らせ

日	時間	概要
11月9日（土） L1校	9:30~10:15	中高等部説明会
	10:15~11:50	〃 授業見学
	10:25~11:10	幼初等部説明会
	11:10~11:30	〃 授業見学

※お知り合いで補習校に関心がおありの方がおられましたら、ぜひご紹介ください。